

かぜ 緑 風

2014年6月7日発行

No.35

早稻田大学本庄高等学院通信

発行：早稲田大学本庄高等学院 発行人：兼築信行 〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎239-3 ☎0495-21-2400 【URL】 <http://waseda-honjo.jp>

すこし気の早い退任の挨拶

学院長 兼 築信行

早稲田大学は、グローバル・リーダーの育成を、グローバル・リーダーのコアとなるべき人材を育て、送り出すことを使命とする本庄高等学校を展開し、このことを十分肝に銘じ、教育を展開しなければならぬ。

しかし、「グローバル・リーダー」に必要な要素は何も英語に限るまい。「リーダー」と言うからには、他者を率い導いていく器量。人々があとに付いて行くだけの品物や嗜みが、身に備わっていないければ駄目である。そのことが「Weida Vision 160」のいくつかの中に謳われているのか、事聞にして知らないものであるが…。

二〇一四年度一学期の始業式では、「品格と嗜みのある人になる」との、内容の副題を行なった。高校生に方向性として、かつ抽象的にこう言ったところで、理解は得られるはずもない。そこでどうしたら「品位と嗜み」を身につけることができるかの方法を申し述べた。それは、「美しく食事ができる人になる」ということであった。ものを飲み食いするときは、生存に必要な根拠的行為であると同時に、最も文化的な行為でもある。ここに、その人の人間としてのありようは、自ずと表れてくるから、恐ろしい。

にもかいかぬので、学生生諸君にはこれから三日間、学院が食事を摂る機をじつと觀察し続けよと命じた。事は飲み食いの最中だけではないけれども、食事を始め、終わつて取り下げられるまでが一連である。目も当てられない様を呈する人もあるだろうし、逆に、なんと見事に―と感嘆する人もあるだろう。つまり食事を摂る有様によつて、その人品骨柄は判るのであるものなのである。真偽は知らず、平将門が物を食う様を見て、後藤太秀輝はその人を食限つたとの逸話も傳わる。古人曰く、「人のふり見て、我がふり直せ」と。

さ二〇一二年九月二十一日、足掛け三年に就任してこのかた、足掛け三年になったが、この九月二十日をもちて任期が満了する。本庄で何を言ひきかせ、総長からは当初、何もいふ渡されなか、一年が経つたといふべきか、総長からは当初、何もいふ渡されなか、一年が経つたといふべきか、総長からは当初、何もいふ渡されなか、一年が経つたといふべきか、

昨年九月、些かアルコールが入った席で、「本庄を大いにひっかけしうでください」と直に言われ、はたと膝を打った。そうか、ひっかかりせばよかったのか（早く言ってよ）

ひっかかりせば、波が立つ、風が起く、ものが動く、動かなければ、物事よゝはならない。

よい所が沢山ある。風向もよい。戦略上ええ眼たなければ、今なら揺るぎない地歩を固めることができる。ただ、その為には地味まぬチャレンジが必要だが、それは早稲田の身上上ではないか(進取の精神)。

事に目途が立てば、スクナナゴは飛び去つて行く。さようなら、ごきげんよう。学院生諸君、「自ら学び、自ら問う」もよいけれど、せいぜい人間を磨きあげ、品格と嗜みを兼ね備えた、早稲田のゴトたる人材となつておくれ。



「その心は！？」

保護者の会会長 栗原 勝 測



保壽者の
模、口頭上
本生高専
院、保壽者
会に對し
深い御理
と御文接
つて居る。

始業と皮切りに、本院院の2014年度がスタートしました。今年度も生徒15名、安全・通学し、学業・部活動、行事につきり昨年の様子を「お願ひ致しませう。」

昨秋、養正塾学院が「学校説明会」の院長挨拶の中で「私は、庄高専学院を決してお引き受けしません」とお断りされたところ、学校の保護者より「お聞きされた、何千校とある校がありますが、このようなお断りをする校長、学院は、大変見解してもなかなか居れない」と感じました。そのお言葉も、どこか、風とばかり、受験生に「見事合格した新生人として親御様へ入学式で二月月経還した現在、在本庄高等学院は知っていますか？」

ほとんどの方は「学院のお言葉に負けず本院院に入学して良かった」と思われたいではないでしょうか、私も2年前より然だと思ひました。

それは、多くの生徒が体育教室に「コソレレ」で参加していた事で、さらに競技場には「コソレレ」に着替えると思ひながら、目の目作「コソレレ」で競技してしまふ「奔放さ、来年時、捨てて見よう」という、ある意味、自分勝手な意思の強さが垣間見えて、また、雨が降つてもおまひになし、泥まみれで競技場、競技の合間にも、これはこれで、かゝり廻るの空を力強く、こつとつらつとした声で「燃焼」こゝにも、田畑で「燃焼」を感ずすには、おまひさんでしたし、洗濯する母親の事を思ひ、といさかお断りしたのです。だが、親断っているほうも時が経つのを、忘れず、そして、毎年観戦者が多いのも当然だと思ひました。

[illegible]

生活に規則やいろいろな規則が無い事として、教師の地位を発表しない事に留意して長年、娘達の教育を施す事を知人に驚かされた。娘達の教育の指圖として「婦人科」というものは母親の責任に必要不可欠といふものではどうか、お嬢様といふのが我が家では入学後、子供に勉強をさせることに促したといふものゝ如く進んでゐます。成績は良いとは言ふせんが、子供は毎日来しように学校にいらして、煙草をすむ外、学校で生活する時に限つた様になんて生きている。学校の出来事を話さず、手紙がその様な體になつて、私に限らず、他の保護者の方も二、三年後に大学を以ててゐる子供を持つ親とは思ふ。ヒリヒリ、感動が全く無いといふのも種々なか覺悟無い事、愛が無いといふ事は受験勉強に費す時間はもうない。志望大学の合格ライ

大学塾部の御別子君が箱根駅伝に年連出場し、本庄高等学院の名を高めてくれた。

この様に本学院の校風、それがあつて先輩達の活躍があることに毎日日本三義かなと充実に時間を過せる環境が整ひ、その間に仲間が揃つてゐます。私的に学院長との言葉は、是非対応に早くお薦めしたい高校です。

保護者の会に、保護者の皆様が自然発生的に授業料を授業料を過せる機会を多めに数来校とさせていただきます。本庄高等学院の生徒になつても、まだたくさん学院に居るのを運んで頂き、学校説明会で兼業主婦のおつきあひ、またお薦め致します。そのおかげで心は、こを満喫してみても如何でしょうか。

Coffee Break

た。特にこの「熟」というテーマについてはまだ騒がしく、また八月の京都というところでもあった。研究会であった。

私は、大学院一年生の時に京都大学基礎物理学研究所の研究員会に参加した。この研究会では、「素粒子理論とは？」というテーマに加えて、「熟とは何か？」というテーマで議論が進んでいく。

その研究会では、いよいよ第一線の研究者たちが、種々の問題を繰り広げられてゐる。「あなたの研究は、新しい知識はありますか」とか、「あなたの研究は確かに新しい発見をきかれていますか、それとも何が面白いですか、計算したばかりですか」となど質問が飛び交った。これらの質問は、普通語を備へたようとするものではない、あくまでも理論物理学の発展に必要な姿勢にあるものである。この研究会に参加して、私の意識は変わった。まさに、物理学が誕生している現場を垣間見た気分であつた。それがきっかけとなつて、大学院へつて研究を続けることになった。その後、学会等ではいよいよは研究者としての活躍に目覚められることが多かつた。まさに真摯勝負。物理の世界にキキキウウウウしながら浸かつていた数日間、私にとってかけがえのない時間になつてゐる。

[illegible]

活躍するOB・OGたち

早大生・学院生のあるべき姿

27期生

早稲田大学創理早学部経済学科4年
早稲田大学応援部 代表委員 主将
仁 熊 佑 太

学院生の皆さん、こんにちは。平成23年度早稲田大学本庄高等学院OBの仁熊佑太です。現在は大学の応援部で主将を務めています。早稲田大学応援部は総勢150名以上の部員が在籍し、年間100近くの応援に行っているとても大きい団体で、「リーダー」「吹奏楽団」「テアトリーダーズ」の3パートから成り立っています。皆さんが一年生の春に観戦した早慶戦、あれも早稲田大学応援部が主体となつて作っている応援で、二ヶ月以上前から準備が始まります。その他にも大学の入学式、卒業式やオープンキャンパス等様々な行事に呼ばれ、「早稲田大学校歌」や「紺碧の空」等の指揮をとっています。今では応援部の主将を務める私も、高等学院時代は皆さんと同じ、普通の高校生でした。



私は当時バスバンド部と軽音楽部に所属しており、パーカッションとドラムを担当していました。当時は色白い風貌でした。そんな私が大学に入ってから応援部に加入したきっかけは、たまたま行った神宮球場で見た野球応援の雰囲気圧迫されたからです。実は自分が高校一年生の時の早慶戦は、雨天で自由参加となっていたため、参加していません。自分が高校の時にずっとやっていた吹奏で、途端もない程の迫力のある応援席を作る事に衝撃を受け、すぐに応援部吹奏楽団への入部を決めました。入部後は、高校からやっていったパーカッションを吹奏楽団で演奏していました。

しかし、私の代はリーダーパートの同期が一人しかいなかった事もあり、学年が上がるにつれて私がリーダーへと考える様になりました。パート間の移動の土台を強固なものにした例がなく、反対意見も多くありました。が、当時最高学年だった先輩に粘り強く思いを伝え、3年の春にリーダーに転身しました。リーダーは「テク」と呼ばれる手や体の振りで応援を指導する事が求められます。当初は技術面、体力面共に下級生のリーダー部員に及

びませんでした。が、遅れを挽回すべく必死に自主練習を重ねました。それだけに、秋の早慶戦で、初めて指揮台での応援を任された時に点が入った瞬間は喜びもひとしおでした。ひたむきに練習に打ち込む選手たちに対して、私たち自信も最大限の努力をしなければ応援する資格が無いという思いを原動力に、これからは力強い応援を届けたいと思っています。

学院生の皆さんも、自ら大きな理想に向かって努力する事を怠らないで欲しいと思います。校歌の歌詞でも、「久遠の理想」「進取の精神」と謳われています。大きく高い理想を持ち、その理想に対して貪欲になる、それが学院生、早大生のあるべき姿だと思っています。それは必ず自分の成長になりますし、その団体、そして早稲田大学の成長にも繋がります。皆さんの大学や社会での活躍を心から楽しみにしています。

2013年度 高校・大学一貫教育プログラム及び国際交流プログラム

1. 海外研修

実施日	研修名	講師
6月3日(月)	量子力学の不思議と量子情報科学 ～近未来の情報テクノロジー～	木村 元 (芝浦工業大学 助教)
6月11日(火)	「これがサイエンスだ!」第1回「ゲーム理論」	五十嵐 直樹 (本学院非常勤講師)
7月9日(火)	「これがサイエンスだ!」第2回「ロボロジーの世界」	坂本 真理沙 (本学院非常勤講師)
9月18日(水)	「これがサイエンスだ!」第3回 「本庄キャンパスの史跡探検をしよう」	藤野倉 伸彦 (本学院非常勤講師)
9月21日(土)	AR(拡張現実)の技術と学習環境での活用	宮田 良寿 (中東大学工学部メディア工学教授)
10月19日(土)	最先端マイコンによる機械制御	影森 隆 (本学院教授)
10月21日(月)	「これがサイエンスだ!」第4回「質量はどこからやってきた?」(ノーベル物理学賞2013解説) 全2回	影森 隆、峰 真知 (本学院教授)
10月28日(水)	「これがサイエンスだ!」第5回 「xからの数値解析入門」	成瀬 光光 (本学院教授)
11月19日(火)	科学の最前線「脳科学」を体験してみよう	中村 知夏 (高崎経済大学非常勤講師)
12月10日(火)	クルマは如何に人間に近づけるか? ～自動車技術の現在と未来～	鶴崎 徹 (NISSAN デザイナー一室)

2. サマーセミナー ※講師はすべて早稲田大学教員

実施日	研修名	講師
7月16日(火)	結約基序方接への関わり-局所的ない局所的な集合のケースを例として-	山本 研 (法文学部教授)
	レーザー光に情報を含めて(データ)はなぜ普及したか	中島 啓典 (理工学部理系用化学科教授)
	スポーツコーチング (情報管理) について	倉石 平 (スポーツ科学部体育学教授)
	経済学を学ぶということ	山口 有希 (経済学部教授)
	会計の初歩	渡邊 直人 (文学部教授)
	ジャパニーズ・サムライの光と影-歴史学のおもしろさ-	谷口 廣子 (文学部国文学科准教授)
	環境との共生について	柳原 豊 (理工学部社会環境工学科教授)
	ゲーム理論入門	山口 浩秀 (国際学部教授)
7月17日(水)	コンテンツの創造に見る21世紀日本の進化	市川 真実 (文学部国文学文化圏学教授)
	新材料・加工プロセスで空へ宇宙への道を切り拓く	鈴木 達樹 (理工学部機械科学・航空学教授)
	ヒトとモノとの結びつき-僕らのためのデザイン-	加藤 康樹 (人間科学部人間情報科学科准教授)
	政治哲学のために	梶島 昇雄 (経済学部経済学教授・副学長)
	はじめてのゲーム理論-ゲーム理論によるものの見方	鈴木 由喜彦 (経済学部経済学教授)
	いざ! 熊鷹の闘い-英語以外の外国語を学ぶということ	佐藤 雄介 (教育・総合科学部教授)
	光合成の生物學	岡田 公俊 (教育・総合科学部教授)
	多岐決と選挙制度	戸田 幸 (社会科学部社会学教授)

3. ウィンターセミナー 実施日: 12月7日(土)

研修名	講師
印刷会社が挑戦する「再生医療」	印刷会社研究所勤務 1期生
教育学部から会社員になる。	損害保険会社勤務 4期生
質量はどこからやってきた? (ノーベル物理学賞2013解説)	高等学校教諭 13期生
パイロットの訓練と義務	航空会社勤務 14期生
卒業時代の夢と現在の職業-企業の新規者になった理由	メーカー研究所勤務 21期生
学生時代に経験したことが社会人になってからの役に活かされているか	調剤・食品等開発会社勤務 22期生
法學部生の学生生活と進路	銀行勤務 24期生
足元の可能性・教育	国立大学大学院在学 26期生
視野を広げる大学生活の送り方	早稲田大学部在学 28期生(2名)

4. 学部進学準備セミナー【3年生対象】

日程	研修名	講師
2月20日(木)	留学について	早稲田大学留学センター職員

5. 健康教育講演

日程	対象	研修名	講師
5月16日(水)	1年生	こころの健康について	藤本 晋二 (早稲田大学保健センター 心理専門相談員)
6月13日(水)	3年生	青年期のセクシャルヘルス	池上千寿子(NPO法人がけいす東京代表)
10月31日(水)	2年生	飲酒・喫煙・薬物乱用予防について	並木 虎夫(日本学校保健会)

6. 人権教育講演会

日程	対象	研修名	講師
10月2日(水)	1,2年生	情報セキュリティ講演	埼玉県警本部サイバー犯罪対策課

7. 国際交流プログラム (未校した学校)

日程	学校名	国・地域
5月29日(木)	国立台中第一高級中学	台湾
11月1日(金)~11月7日(木)	National Junior College	シンガポール

8. 本庄高等学院主催 S S H 科学教育交流シンポジウム (WaiSES:Waseda International Science and Engineering Symposium)12月17日(火)~12月21日(土)

国外5か国6校、国内6校が参加。 研究論文・研究口頭発表・ポスターセッション・科学研習遠足・展覧コンペティション・基調講演・特別講演・教員研修等。

以上

